

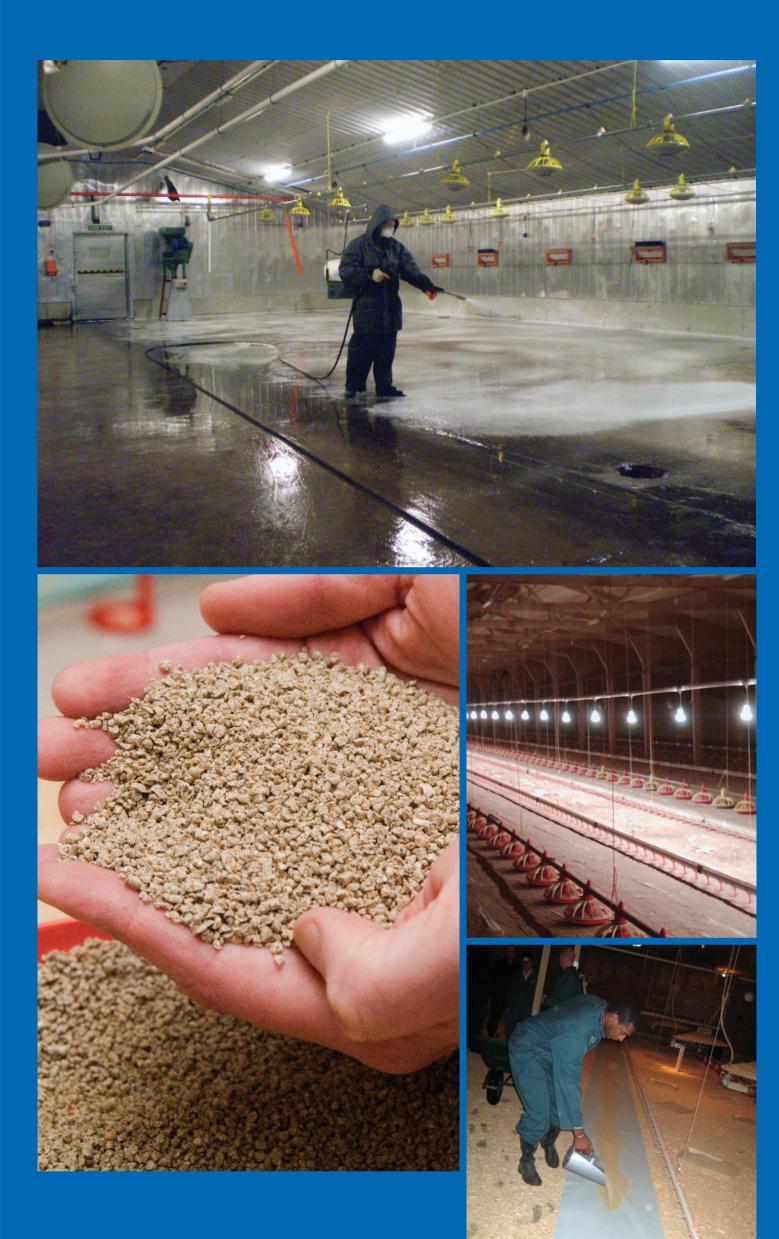
# 餌付け後24時間



www.chunky.co.jp

## www.aviagen.com

#### 入雛前



- とナにバイオセキュリティーの整った、きれいな鶏舎を準備します。
- 到着後、ヒナが餌と水にすぐに付けるように、餌付け準備を 行ないます。
- 飼料は、粉のない篩に掛けられたクランブルを使用します。餌付け後初期24時間、ヒナが餌と水を見つけるために1m以上歩かなくてよいようにします。
- 補助給餌器・給水器を、メイン給餌器・給水器の近くに配置 します。
- 第舎を予備加温し、入雛前に温度と湿度を安定させます。目標 床面温度は28-30℃です。

#### ヒナ到着後



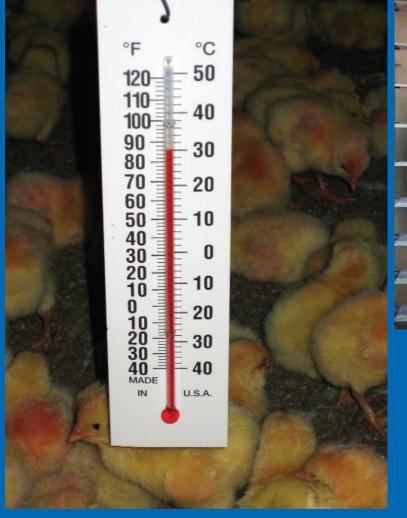




- とナをすばやく荷下ろしして、育雛域に放します。
- 餌と水がすぐに摂取出来ていることを確認します。
- ▶ ヒナの活動を刺激するために、照度は20Lux以上にすべきです。
- > ヒナを1-2時間落ち着かせ、その後ヒナの行動をチェックします。

### 環境目標設定







- ) 餌付け時の目標値
- · 舎内温度30°C (ヒナの高さで)
- 床面温度28-30℃
- · 相対湿度60-70%
- とナの行動を観察することで、温度が適切か判断します。
- 換気(隙間風のない)は以下のために必要です。
- ・新鮮な空気の供給
- ・老廃ガス・過剰な湿度と熱の除去

ヒナは冷気の影響を受けやすいため、風速は0.15m/秒以下に すべきです。

# 餌付け良否判定



#### クロップフィル調査(そ嚢調査)

- とナが餌を食べ始める時は、良い飼料(粉でない)を食べる傾向があります。もしヒナが適切に餌と水を摂取していれば、そ嚢は餌と水の両方で満たされているはずです。初期24時間の丁寧な管理は、ヒナの発育の指標になります。
- 到着2時間後、ヒナが餌と水を見つけることが出来たか確認する ために、ヒナをサンプリングします。
- 舎内で3~4箇所の異なる場所から30~40羽のヒナを捕まえ、そ嚢を優しく調べます。
- **>** ヒナのクロップフィル評価。

餌付け後のクロップフィル 調査時間	クロップフィル目標値 (そ嚢が満たされているヒナ%)
2時間後	75%
12時間後	85%以上
24時間後	95%以上